

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

みんなの宝 阿蘇の草原を次世代へ ～ 野焼き支援ボランティア活動 ～

【取組み内容】

阿蘇の草原は野焼きや放牧などの人の営みによって維持されてきた人と自然とのかかわりの中でできていた世界的にも稀有な存在です。しかし、農業の近代化による草原の利用価値の低下や少子高齢化による担い手の減少により草原面積は減少傾向にあります。特に野焼きは多くの人手を要しますが現在では地元だけでは維持が難しいことから、当財団では「野焼き支援ボランティア」を組織し、草原保全に努めています。

1999年から始まった活動は、今では年間延べ2000人以上が参加するまでになりました。安全講習を受けたボランティアは、野焼きの火が延焼しないように消火作業に努めており、今や阿蘇の草原保全に欠かせない存在となっています。



評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	地域住民の負担になっていた草原保全作業（野焼き等）を都市部の住民の力を借りながら取り組むことで、草原保全に貢献している。
包摂性	阿蘇の草原を守る取組みは、熊本地域100万人の水を守る活動にもつながります。私たちが阿蘇地域で活動することで、熊本県、さらには九州の人達が恩恵を受けることにつながります。
協働性	農村・都市・企業・行政の四者のこれら4者の連携により野焼き支援活動が行われています。
統合性	阿蘇の草原保全をすることで、生物多様性、草原文化、地域経済（あか牛）を守ることにつながります。
透明性	公益財団法人であることから、活動内容や収支等についても公表しているほか、財団HP、SNS等で情報発信を欠かさず実施しています。

貢献するSDGsのゴール

